

## 決算特別委員会記録（第2号）

平成20年9月12日 金曜日 午前10時00分開議

高橋孝夫 委員長 谷口栄子 副委員長

### 出席委員（16名）

|     |      |    |     |      |    |
|-----|------|----|-----|------|----|
| 1番  | 竹田博一 | 委員 | 2番  | 鈴木悟司 | 委員 |
| 3番  | 我妻昇  | 委員 | 4番  | 大道寺信 | 委員 |
| 5番  | 谷口栄子 | 委員 | 6番  | 蒲生光男 | 委員 |
| 7番  | 町田義昭 | 委員 | 8番  | 安部隆  | 委員 |
| 9番  | 渋谷佐輔 | 委員 | 10番 | 高橋孝夫 | 委員 |
| 12番 | 藤原民夫 | 委員 | 13番 | 鈴木良雄 | 委員 |
| 14番 | 小関勝助 | 委員 | 15番 | 鈴木武次 | 委員 |
| 16番 | 鈴木新助 | 委員 | 17番 | 蒲生吉夫 | 委員 |

### 欠席委員（0名）

+

### 説明のため出席した者

|       |          |       |            |
|-------|----------|-------|------------|
| 内谷重治  | 市長       | 新野潔   | 副市長        |
|       | 総務課長兼選挙管 |       |            |
| 飯澤常雄  | 理委員会事務局長 | 平英一   | 財政課長       |
| 遠藤健司  | 企画調整課長   | 松木英司  | 税務課長       |
| 浅野敏明  | 市民課長     | 中井晃   | 健康課長       |
| 船山祐子  | 福祉事務所長   | 高橋信夫  | 会計管理者兼会計課長 |
| 矢久保浩  | 消防主幹     | 飯田武志  | 監査委員       |
| 大滝昌利  | 教育長      | 平進介   | 管理課長       |
| 遠藤正明  | 農林課長     | 齋藤理喜夫 | 商工観光課長     |
| 鈴木一則  | 建設課長     | 渡部政明  | 水道事業所長     |
|       |          |       | 中央公民館長兼    |
| 那須宗一  | 文化生涯学習課長 | 平正行   | 生涯学習プラザ館長  |
| 宇津木正紀 | 図書館長     | 佐藤孝博  | 学校給食共同調理場長 |
| 高橋徹   | 市民文化会館長  | 鈴木要一郎 | 農業委員会事務局長  |
| 青木邦彦  | 監査委員事務局長 | 鈴木隆政  | 勤労センター所長   |

+

## 事務局職員出席者

|         |        |       |   |   |
|---------|--------|-------|---|---|
| 松本 弘    | 議会事務局長 | 小関 浩幸 | 補 | 佐 |
| 五十嵐 恵美子 | 庶務係長   | 塚田 知広 | 主 | 任 |

## 本日の会議に付した事件

認 第 1号 平成19年度長井市歳入歳出決算認定について  
認 第 2号 平成19年度長井市水道事業会計決算認定について

+

+

+

## 開 議

○高橋孝夫委員長 おはようございます。

これより決算特別委員会を開きます。

本日の会議に欠席の通告委員はございません。よって、ただいまの出席委員は定足数に達しております。

それでは、去る1日の本会議において、本決算特別委員会に付託になりました認第1号 平成19年度長井市歳入歳出決算認定について及び認第2号 平成19年度長井市水道事業会計決算認定についての2件について審査を行います。

審査日程につきましては既に配付しております会議日程表のとおりでありますので、ご協力をお願いいたします。

それでは、これより各会計決算の概要について説明を求めます。

### 認第1号 平成19年度長井市歳入歳出決算認定について

○高橋孝夫委員長 まず、認第1号の平成19年度長井市一般会計歳入歳出決算について。

高橋信夫会計管理者。

○高橋信夫会計管理者 おはようございます。

認第1号 平成19年度長井市歳入歳出決算認定についてのうち、私からは一般会計歳入歳出決算の款項別計数について、お手元の事項別明細書によりご説明をいたします。

歳入より申し上げますので、決算書の27ページをお開き願います。

1 款市税の収入済額につきましては33億8,581万7,342円で、歳入総額に占める構成比率

は前年度より2.3ポイント上昇し、31.1%となりました。予算に対しては3,081万7,342円の増となり、前年度対比では税源移譲の関係もあり、9.7%、2億9,894万1,002円の増となっております。収納率は92.5%となり、前年度対比で1.5ポイント上昇しましたほか、不納欠損額については、前年度対比で約2,000万円減少し2,437万9,444円となっております。収入未済額については2億5,159万1,254円で、前年度対比4.1%、1,076万1,497円の減となっております。

1 項市民税の収入済額は14億6,615万2,712円で、税込総額の43.3%を占めております。予算対比では1,437万712円、1.0%の増となり、前年度対比では2億4,611万6,871円、20.2%の増となりました。

1 目の個人分の収入済額については、所得税よりの税源移譲がありましたことなどから、予算より1,937万4,681円多い、11億4,240万681円で、前年度対比30.3%、2億6,580万7,610円の大幅な増となりました。

一方、2 目の法人分の収入済額は3億2,375万2,031円で、予算対比1.5%、500万3,969円の減、また前年度対比でも5.7%、1,969万739円の減となっており、厳しい経済状況を反映する結果となりました。

2 項の固定資産税は、収入済額15億443万4,598円で、税込総額の44.4%を占めております。予算対比では1,379万1,598円、0.9%の増となり、前年度対比では4,843万9,669円、3.3%の増となりました。

3 項の軽自動車税の収入済額は5,977万1,592円で、税込総額の1.8%を占め、予算対比では1.3%の増となり、前年度対比では116万9,944円、2.0%の増となりました。

次ページ、4 項の市たばこ税の収入済額は1億8,711万7,627円で、税込総額の5.5%を占めております。予算とほぼ同額の収入済額となりましたが、前年度対比では269万4,053円、

+